

交流センターだより



大歳地域交流センター
公式X(Twitter)アカウント

No.187
令和6年
10月号

おおとし

発行 大歳地域交流センター TEL 922-4035 FAX 922-4036 人口 14,076 世帯数 7,034
開館時間 8時30分~17時15分 (行政窓口 TEL 922-2461) (令和6年9月1日現在)

地区モルック大会を開催します!

フィンランド発祥の「モルック」は、とても簡単なルールで、子どもから高齢者まで同じレベルで楽しめるスポーツです。ぜひご参加ください。個人チームでも参加可能です。

申込フォーム

日時：11月10日(日)
8時30分~

場所：大歳小学校体育館

主催：大歳体育振興会

問い合わせ：大歳体育振興会

(TEL 922-4035)

分館参加：地区の分館長または体育委員さんにご連絡ください。【10月22日メ切】

個人参加：上記QRコードからお申込みください。【10月25日メ切】

※保護者同伴であれば、低年齢でも参加可能です。
※分館参加は1チーム4人制、個人参加は1チーム3~4人での申込みをお願いします。



花づくり講習会参加者募集!

大歳まちづくり協議会では、「花いっぱいの大歳づくり」を進めています。

花づくり講習会では、プランターに季節の花を植えます。植えたプランターをご家庭にお持ち帰りいただき、地域の方に見えやすい場所や庭などで育ててください。

お花が終わりましても、引き続き花いっぱいの大歳づくりにご協力をお願いいたします。

日時：10月25日(金) ※小雨決行
第1回目 13時30分~14時30分
第2回目 14時30分~15時30分

定員：各20名

申込締切：10月10日(木)

※先着順としますが、初めて申込まれる方を優先いたします。

※10月1日(火)9時30分から受付開始。

※2回に分けて開催しますので、どちらか一方でお申込みください。

持参物：軍手、タオル

申込先：大歳まちづくり協議会事務局

TEL：083-920-1700

みんなの広場からのお知らせ

大歳まつりでの「わくわく遊びの広場(11月3日大歳小体育館)」開催のための準備会を行います。手作り工作が好きな方、ぜひご参加ください。

- ◆内容：「古くて新しい!遊び道具」を一緒に作りましょう。昔遊び!は自分にとって新しい発見があるかも?!
①折り紙遊び、牛乳パック工作
②どんぐりコマ
③おやつとドリンクバー

◆日時：10月19日(土)
13時30分~15時30分

◆場所：大歳地域交流センター 講堂

◆参加費：不要です。

◆申込み：不要です。直接ご参加ください。

◆連絡先：大窪(080-2904-8193)

太陽クラブからのお知らせ

今月は食推さんをお呼びして、かぼちゃを使ったおやつ作りをします!

また、ハロウィンのイベントとして交流センター内を探検します。お菓子がもらえるかも♪仮装も大歓迎!ぜひご参加ください☺

※日時：10月23日(水)10時00分~

※内容：カボチャのおやつ作り

ハロウィンパーティー

※場所：大歳地域交流センター 和室

※参加費：無料

※持ち物：飲み物、フォークかスプーン、エプロン&三角巾

※お皿は主催者で準備します

※募集人数：未就園児の親子10組程度

※申込締切：10月18日(金)

※申込先：水原(090-4897-5649)



山口市保健センターから健康チェック・健康相談会のお知らせ 「今日からできる！筋力アップ大作戦」

- 日時 11月28日（木） 受付：10時00分～11時00分
- 場所 大歳地域交流センター 2階 講堂
- 対象 健康づくりに関心のある方、健康診査結果について相談がある方など
- 内容 骨の強さ測定、体組成測定、保健師・管理栄養士による健康相談、筋力や骨の強さを高める方法についての展示
- 参加費 不要
- 申込み 不要。受付時間内に会場にお越しください。
- 持参品等 各種健康診査結果（お持ちの方）
- ご利用にあたっての注意点
 - ・体組成測定のご希望のある方は裸足になれる服装でお越しください。
 - ・体調の悪い方は参加をご遠慮ください。
- 問い合わせ 山口市保健センター 健康増進課（921-2666）



山口市保健センターから肺がん（結核）検診のお知らせ

がんの早期発見に向け、集団検診を実施します。早期のがんは自覚症状がないことが多いため、定期的な検診受診が必要です。40歳以上で、職場等で検診や人間ドック等を受ける機会のない方はぜひ受診しましょう。受診の際は必ず、がん検診等受診券（5月下旬発送）をご持参ください。

肺がん（結核）検診

- 場 所：大歳地域交流センター
- 日 時：令和6年10月24日（木） 9時00分～12時00分
- 負担金：300円
※令和6年4月1日時点で40、45、50、55、60歳の方、65歳以上の方は無料
- 予 約：不要

喀痰（かくたん）検査（肺がん検診と同時に受診できます。）

- 対 象：肺がん検診受診者のうち、50歳以上で喫煙指数（1日の喫煙本数×喫煙年数）が600以上の方
- 負担金：700円
※70歳以上の方、「後期高齢者医療被保険者証」を提示された65～69歳の方、70歳未満で市民税非課税世帯の方（要事前申請）は自己負担金が500円です。

荒天時は、延期または中止となる場合があります。

【問い合わせ】山口市保健センター TEL 083-921-2666



山口市文化交流課からのお知らせ

～山口市美術展覧会に出品しませんか～

令和7年3月2日(日)～3月9日(日)に山口市市民会館で「山口市美術展覧会」を開催します。この機会にあなたの作品をぜひご応募ください。

- 募集部門 絵画、彫刻、工芸、書、写真、デザイン、その他
(各部門一人、または一グループ1点以内)
- 対象 次のいずれかに該当している方を対象とする。
①山口市に在住・在勤・在学している方
②山口市内の文化講座・文化団体に所属している方
- 申込方法 下記“作品の搬入”の日時に、直接会場で申し込み
- 出品料 1点につき1,000円(作品搬入時にお支払いください)
- 作品の搬入 令和7年2月20日(木)・21日(金)9時30分～17時00分に、山口市市民会館展示ホールに持参のこと
- 問い合わせ 山口市文化交流課(TEL:083-934-2717)



防災セミナー開催のお知らせ

大歳の防災を考える

～家庭のソナエと地震対策について～



大歳地区では、頻繁に内水氾濫が発生し、大きな被害が発生しています。また、榎野川の増水により、土手を越える危険性も否定できません。

さらには、南海トラフの巨大地震の発生確率も高まっています。

もはや災害は避けては通れません。水害や地震に対して私たちは「何をすべきか」「何ができるか」、みんなで考えてみませんか。

- 日時：10月29日(火)19時00分～20時30分
- 会場：大歳地域交流センター 講堂
- 講師：幸坂 美彦氏(防災士、防災アドバイザー、災害リスクコミュニケーター)
- 申込先：大歳まちづくり協議会(TEL・FAX 083-920-1700)
- 申込締切日：10月21日(月)
- ※どなたでも参加できます

【大歳地区 10月の行事予定】

- 3日(木) 燃やせないごみの日
- 4日(金) ぶっくん来館日(15:20～16:00)
- 9日(水) 母子相談
- 16日(水) びん・缶ごみの日
- 17日(木) 金属・小型家電製品ごみの日
- 18日(金) パソコン相談(受付 10:00～10:30)
ぶっくん来館日(15:20～16:00)
- 19日(土) みんなの広場(13:30～15:30)



- 20日(日) 大歳地区一斉清掃
- 23日(水) 子育て支援サークル 太陽クラブ(10:00～)
- 24日(木) 肺がん(結核)検診
- 25日(金) 古紙ペットボトル分別収集(大歳①)
花づくり講習会
- 29日(火) 防災セミナー(19:00～20:30)
- 31日(木) 古紙ペットボトル分別収集(大歳②)
- ※木曜日はプラ容器包装分別収集



大内氏と対外貿易③ ニンポー 寧波の乱

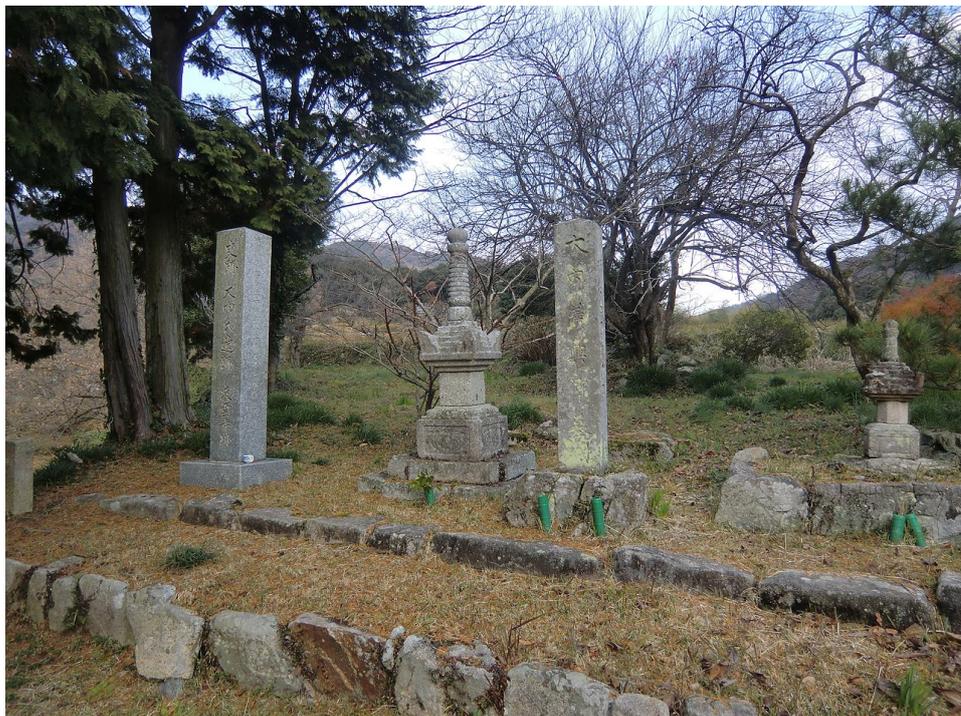
朝鮮貿易が倭寇ではないと確認できれば、貿易への参加が可能であったのに比べ、明との貿易は国家間の不平等な朝貢貿易という形式をとる厳しい制約下にありました。日本国王たる将軍が明の皇帝に貢物をもって挨拶に行き、皇帝から多大な下配品を賜るという形式を踏んだ貿易で、十年ごとに貢物をもって訪れる「十年一貢」が後期の対明貿易の原則でした。勘合貿易と言われた貿易は皇帝の代替わり毎に下配される百枚の勘合符から一隻1枚を持参することが必要で、勘合符は貿易許可証というより、国王使節の証明書というべき役割を果たしていました。船は上海の南の寧波に入り、そこから北京へ行って、皇帝に拝謁するという長い距離と時間をかけたものでした。それでも大きな利益が上がるのですから、将軍から勘合符を得て参加しようとする大名が争い、応仁の乱後は堺を支配した細川氏と博多を握る大内氏にしばられてきました。

1523年4月、現在の皇帝の発行した正徳の勘合符を持った大内氏の使船三隻が寧波に到着しました。ところが数日後、もはや有効とは言えない先代皇帝の弘治の勘合符を持った1隻の細川氏の使船が到着。だが後から到着した細川氏が先に上陸を許可され、歓迎の席でも細川氏が上位にすわるという不当な扱いが行われ、大内氏の使節団は厳しく抗議しますが、正論より賄賂が優先する明の役人の対応はわかりません。このまま北京に行けば、「十年一貢」の原則に従って、細川氏が使節と認められ、大内氏は海賊行為を行った不法者とされかねません。

ここで異様に感じるのは細川氏の副使・宋素卿の役割です。明の役人が賄賂に弱く、無理難題もわいろで切り抜けられると見通したような細川氏の姿勢を演出した張本人です。明から日本に流れてきて、商人として上り詰めた彼の上昇志向が、この急ごしらえの使節団を生み出したともいえます。窮地に立った大内氏の決断もまた異様でした。官戸を襲い、武器を取り戻して、明の役所と細川氏の船を襲って焼き払い、逃げた宋素卿を追って紹興まで行き、役所を襲い、民家を焼き払い、海上に逃亡するというまさに倭寇と同様の行為に及びます。この正

論を掲げて、わいろに目のくらんだ役人の不法をただしたという暴力行為は貿易規制に不満な勢力を励まし、後期倭寇がここから始まるとされることとなります。琉球王国の仲介で明との交渉が進められ、以後、2度ほど大内氏のみが勘合貿易を行えることとなりましたが、ヨーロッパ勢力の進出が勘合貿易システムに終止符をうつこととなります。1543年王直の私貿易船が種子島について、同乗していたポルトガル人が鉄砲を伝えた話は、当時の私貿易の広がりを見事に示しています。

(大歳史談会 文責：武波義明)



吉敷・凌雲寺跡の大内義興（寧波の乱時の大内家当主）の墓